## 慶應義塾大学学術情報リポジトリ Keio Associated Repository of Academic resouces

Title災害、環境汚染に発するリスクの認識の社会的・歴史的条件をアジア3地域にて比較研究Sub TitleComparative analysis of perceptions of natural disasters- and environmental deterioration risks and their social and historical conditions in three East Asian communitiesAuthorVu, Le Thao ChiPublisher慶應義塾大学Publication year2019Jittle学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)JaLC DOI調査対象1は枯葉剤(通称、エージェント・オレンジ)が散布され生活環境がダイオキジ 染されたベトナム中部ビンディン省の一地区である。障がい児を抱える住民を30家族、 医療関係者、障がい児の週末学級関係者など20名の聞き取り調査を行った。よく知られ ように、戦時中の枯葉剤散布による環境汚染は多数の死に至る疾患とか障がい周度 剤による環境の汚染に求め、それを問題とする住民は皆無に近い。2)障がい児を抱える 「宿命」など自らでは対応できない力の存在に原因を求める傾向が強い。3) - つの結身 、農業用化学薬品への警戒心も低い。調査対象2は富士南山麓の須山地区である。火山汚 測される富土山麓での住民の日常生活の変化の有無を調査した。観察の結果は以下の通り 。1)避難訓練などは行われるが、地震、火山の専門家による火山活動の予測は住民の目 きな変化をもたらしてはいない。2)「その時は仕方がない」という発言に代表されるの 火山活動が現実化した場合はベトナム中部の住民と同じように自分自身の変化では対応 いという姿勢である。 以上から、いくつか明らかになった。1)専門家のリスク評価が一般住民のリスク対応 さないというとである。その原因の一つは、専門家が使う言語(発生する可能性・した 性をが共存している)の持つあいまいさである。2)普通の人間は自分の生活をや断さけ な事態を前にすると、リスクを軽く受け止めようとする努力一独自の表現(ナラティヴ) 換えるーをする。これが、専門家が期待するような行動を自制する一因となっている。	i-induced
risks and their social and historical conditions in three East Asian communities           Author         Vu, Le Thao Chi           Publisher         慶應義塾大学           Publication year         2019           Jtitle         学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)           JaLC DOI         Abstract           調査対象1は枯葉剤(通称、エージェント・オレンジ)が散布され生活環境がダイオキミ 染されたペトナム中部ピンディン省の一地区である。障がい児を抱える住民を30家族、 医療関係者、障がい児の週末学級関係者など20名の聞き取り調査を行った。よく知られ ように、戦時中の枯葉剤散布による環境汚染は多数の死に至る疾患とか障がい者を生みよ る。調査の結果観察された重要なポイントは以下の通りである。1)子供の障がいの原題 剤による環境の汚染に求め、それを問題とする住民は皆無に近い。2)障がい児を抱ええる 「宿命」など自らでは対応できない力の存在に原因を求める傾向が強い。3)ーつの結野 、農業用化学薬品への警戒心も低い。調査対象2は富士南山麓の須山地区である。火山活 測される富士山麓での住民の日常生活の変化の有無を調査した。観察の結果は以下の通り 。1)避難訓練などは行われるが、地震、火山の専門家による火山活動の予測は住民の日 きな変化をもたらしてはいない。2)「その時は仕方がない」という発言に代表されるる 火山活動が現実化した場合はペトナム中部の住民と同じように自分自身の変化では対応し いという姿勢である。 以上から、いくつか明らかになった。1)専門家のリスク評価が一般住民のリスク対応を さないということである。その原因の一つは、専門家が使う言語(発生する可能性・した 性とが共存している)の持つあいまいさである。2)普通の人間は自分の生活を中断させ な事態を前にすると、リスクを軽く受け止めようとする努力一独自の表現(ナラティヴ)	····································
Publisher         慶應義塾大学           Publication year         2019           Jtitle         学事振興資金研究成果実績報告書(2018.)           JaLC DOI             Abstract         調査対象1は枯葉剤(通称、エージェント・オレンジ)が散布され生活環境がダイオキジ 染されたベトナム中部ビンディン省の一地区である。障がい児を抱える住民を30家族、 医療関係者、障がい児の週末学級関係者など20名の聞き取り調査を行った。よく知られ ように、戦時中の枯葉剤散布による環境汚染は多数の死に至る疾患とか障がい者を生みよ る。調査の結果観察された重要なポイントは以下の通りである。1)子供の障がいの原因 剤による環境の汚染に求め、それを問題とする住民は皆無に近い。2)障がい児を抱える 「宿命」など自らでは対応できない力の存在に原因を求める傾向が強い。3)一つの結果 、農業用化学薬品への警戒心も低い。調査対象2は富士南山麓の須山地区である。火山洗 測される富士山麓での住民の日常生活の変化の有無を調査した。観察の結果は以下の通り 。1)避難訓練などは行われるが、地震、火山の専門家による火山活動の予測は住民の目 きな変化をもたらしてはいない。2)「その時は仕方がない」という発言に代表されるよ 火山活動が現実化した場合はベトナム中部の住民と同じように自分自身の変化では対応し いという姿勢である。 以上から、いくつか明らかになった。1)専門家のリスク評価が一般住民のリスク対応を さないということである。その原因の一つは、専門家が使う言語(発生する可能性・しな 性とが共存している)の持つあいまいさである。2)普通の人間は自分の生活を中断させ な事態を前にすると、リスクを軽く受け止めようとする努力一独自の表現(ナラティヴ)	地域の
Publication year         2019           Jtitle         学事振興資金研究成果実績報告書(2018.)           JaLC DOI           Abstract         調査対象1は枯葉剤(通称、エージェント・オレンジ)が散布され生活環境がダイオキジ 染されたペトナム中部ビンディン省の一地区である。障がい児を抱える住民を30家族、 医療関係者、障がい児の週末学級関係者など20名の聞き取り調査を行った。よく知られ ように、戦時中の枯葉剤散布による環境汚染は多数の死に至る疾患とか障がい者を生みよ る。調査の結果観察された重要なポイントは以下の通りである。1)子供の障がいの原因 剤による環境の汚染に求め、それを問題とする住民は皆無に近い。2)障がい児を抱える 「宿命」など自らでは対応できない力の存在に原因を求める傾向が強い。3)一つの結果、 農業用化学薬品への警戒心も低い。調査対象2は富士南山麓の須山地区である。火山汚 測される富士山麓での住民の日常生活の変化の有無を調査した。観察の結果は以下の通り 。1)避難訓練などは行われるが、地震、火山の専門家による火山活動の予測は住民の目 きな変化をもたらしてはいない。2)「その時は仕方がない」という発言に代表されるよ 火山活動が現実化した場合はペトナム中部の住民と同じように自分自身の変化では対応しい いという姿勢である。 以上から、いくつか明らかになった。1)専門家が使う言語(発生する可能性・した 性とが共存している)の持つあいまいさである。2)普通の人間は自分の生活を中断させ な事態を前にすると、リスクを軽く受け止めようとする努力一独自の表現(ナラティヴア	地域の
Jtitle     学事振興資金研究成果実績報告書(2018.)     JaLC DOI     Abstract     調査対象1は枯葉剤(通称、エージェント・オレンジ)が散布され生活環境がダイオキジ 染されたベトナム中部ビンディン省の一地区である。障がい児を抱える住民を30家族、 医療関係者、障がい児の週末学級関係者など20名の聞き取り調査を行った。よく知られ ように、戦時中の枯葉剤散布による環境汚染は多数の死に至る疾患とか障がい者を生みよ る。調査の結果観察された重要なポイントは以下の通りである。1)子供の障がいの原因 剤による環境の汚染に求め、それを問題とする住民は皆無に近い。2)障がい児を抱える 「宿命」など自らでは対応できない力の存在に原因を求める傾向が強い。3)一つの結果 、農業用化学薬品への警戒心も低い。調査対象2は富士南山麓の須山地区である。火山汚 測される富士山麓での住民の日常生活の変化の有無を調査した。観察の結果は以下の通り ・ 1)避難訓練などは行われるが、地震、火山の専門家による火山活動の予測は住民の日 きな変化をもたらしてはいない。2)「その時は仕方がない」という発言に代表されるよ 火山活動が現実化した場合はペトナム中部の住民と同じように自分自身の変化では対応し いという姿勢である。 以上から、いくつか明らかになった。1)専門家のリスク評価が一般住民のリスク対応を さないということである。その原因の一つは、専門家が使う言語(発生する可能性・した 性とが共存している)の持つあいまいさである。2)普通の人間は自分の生活を中断させ な事態を前にすると、リスクを軽く受け止めようとする努力一独自の表現(ナラティヴ)	地域の
JaLC DOI     Abstract     調査対象1は枯葉剤(通称、エージェント・オレンジ)が散布され生活環境がダイオキジ 染されたベトナム中部ビンディン省の一地区である。障がい児を抱える住民を30家族、 医療関係者、障がい児の週末学級関係者など20名の聞き取り調査を行った。よく知られ ように、戦時中の枯葉剤散布による環境汚染は多数の死に至る疾患とか障がい者を生み出 る。調査の結果観察された重要なポイントは以下の通りである。1)子供の障がいの原 剤による環境の汚染に求め、それを問題とする住民は皆無に近い。2)障がい児を抱える 「宿命」など自らでは対応できない力の存在に原因を求める傾向が強い。3)一つの結 実、農業用化学薬品への警戒心も低い。調査対象2は富士南山麓の須山地区である。火山浴 測される富士山麓での住民の日常生活の変化の有無を調査した。観察の結果は以下の通り 。1)避難訓練などは行われるが、地震、火山の専門家による火山活動の予測は住民の日 きな変化をもたらしてはいない。2)「その時は仕方がない」という発言に代表されるよ 火山活動が現実化した場合はベトナム中部の住民と同じように自分自身の変化では対応し いという姿勢である。 以上から、いくつか明らかになった。1)専門家のリスク評価が一般住民のリスク対応 なさないということである。その原因の一つは、専門家が使う言語(発生する可能性・した 性とが共存している)の持つあいまいさである。2)普通の人間は自分の生活を中断させ な事態を前にすると、リスクを軽く受け止めようとする努力一独自の表現(ナラティヴ)	地域の
Abstract 調査対象1は枯葉剤(通称、エージェント・オレンジ)が散布され生活環境がダイオキシ 染されたベトナム中部ビンディン省の一地区である。障がい児を抱える住民を30家族、 医療関係者、障がい児の週末学級関係者など20名の聞き取り調査を行った。よく知られ ように、戦時中の枯葉剤散布による環境汚染は多数の死に至る疾患とか障がい者を生み出 る。調査の結果観察された重要なポイントは以下の通りである。1)子供の障がいの原因 剤による環境の汚染に求め、それを問題とする住民は皆無に近い。2)障がい児を抱える 「宿命」など自らでは対応できない力の存在に原因を求める傾向が強い。3)一つの結果 、農業用化学薬品への警戒心も低い。調査対象2は富士南山麓の須山地区である。火山汚 測される富士山麓での住民の日常生活の変化の有無を調査した。観察の結果は以下の通い 。1)避難訓練などは行われるが、地震、火山の専門家による火山活動の予測は住民の日 きな変化をもたらしてはいない。2)「その時は仕方がない」という発言に代表されるよ 火山活動が現実化した場合はベトナム中部の住民と同じように自分自身の変化では対応し いという姿勢である。 以上から、いくつか明らかになった。1)専門家のリスク評価が一般住民のリスク対応を さないということである。その原因の一つは、専門家が使う言語(発生する可能性・した 性とが共存している)の持つあいまいさである。2)普通の人間は自分の生活を中断さた な事態を前にすると、リスクを軽く受け止めようとする努力一独自の表現(ナラティヴン	地域の
染されたベトナム中部ビンディン省の一地区である。障がい児を抱える住民を30家族、 医療関係者、障がい児の週末学級関係者など20名の聞き取り調査を行った。よく知られ ように、戦時中の枯葉剤散布による環境汚染は多数の死に至る疾患とか障がい者を生み出 る。調査の結果観察された重要なポイントは以下の通りである。1)子供の障がいの原題 剤による環境の汚染に求め、それを問題とする住民は皆無に近い。2)障がい児を抱える 「宿命」など自らでは対応できない力の存在に原因を求める傾向が強い。3)一つの結果 、農業用化学薬品への警戒心も低い。調査対象2は富士南山麓の須山地区である。火山流 測される富士山麓での住民の日常生活の変化の有無を調査した。観察の結果は以下の通り 。1)避難訓練などは行われるが、地震、火山の専門家による火山活動の予測は住民の日 きな変化をもたらしてはいない。2)「その時は仕方がない」という発言に代表されるよ 火山活動が現実化した場合はペトナム中部の住民と同じように自分自身の変化では対応し いという姿勢である。 以上から、いくつか明らかになった。1)専門家のリスク評価が一般住民のリスク対応を さないということである。その原因の一つは、専門家が使う言語(発生する可能性・した 性とが共存している)の持つあいまいさである。2)普通の人間は自分の生活を中断さた な事態を前にすると、リスクを軽く受け止めようとする努力一独自の表現(ナラティヴン	地域の
マイヴのこの特性は注目に値するが、これまでの類似の調査では検討されていない。 マホま、2018年12月に入り地震・火山活動が活発になり、インドネシアでの調査は計 助成金の一部はペトナムでの2度目の調査に再配分した。ペトナムでの2度の調査は計 ある。 The first of research targets is a district in Binh Dinh Province, central Vietnam, known to living environment contaminated by the dioxin-yielding herbicides (known as Agent Orang interviewed the members of the 30 families with at least one disabled child and 20 others clinic staffs and primary school teachers where some of the disabled children spend their Among the medical and environmental specialists, the living environment contaminated by Agent Orange is responsible for a large number of fatal aliments and the birth defects am postwar Vietnamese generations. The intensive interviews helped develop the following observations:1) Very few, if any, families with the disabled children are forthcoming in arg their misfortune to be attributable to the contaminated living environment; and 2) the famil unfortunate children are more willing to blame the misfortune to "fate" and other forces ov they have no control. Inevitably, they have very little or no guarded views toward the use of sorts of agrochemicals. The second of the research targets is Suyama community at the f Fuji. The purpose is to see any sign(s) of significant change in the residents' everyday life warning of possibility of Fuji's volcanic activities has intensified. I have observed the follow No significant change in their everyday life even with the regular evacuation exercises are installed; 2) "Can't help it if Mt. Fuji erupts" represents the residents' basic policy of givi the forces beyond their control in a manner similar to the Vietnamese above. From the observations above, two points stand out: 1) The specialists' warnings of various are unable to induce the ordinary citizens to take appropriate action, due to the innate am the language that the former try to communicate the impending danger to the latter. 50% of a major disaster can easily be interpreted as 50% no disasters; 2) the ordin	出因る果舌リヨよう をなさ)日 断2 he.b likeeke uies which on the significant and the significant an
which needs to be developed and which has rarely caught the attention of risk behavior a	-
Notes	-
Genre Research Paper	-

ι	JF	٦I	

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 2018 年度 学事振興資金(個人研究)研究成果実績報告書

2019年4月8日

2010 -		+爭掀哭貝金(		<b>研</b> 究成果美額報告書		
研究代表者	所属	総合政策学部	職名	特任講師(有期)	──補助額	200 (B) <del>T</del> P
	氏名	ヴレタオ チ	氏名(英語)	Vu Le Thao Chi	而功故	200 (B) 11
			研究課題(日本	語)		
災害、環境汚ゞ	とに発するリスク	クの認識の社会的・歴史的	り条件をアジア3地 <sup>は</sup>	或にて比較研究		
			研究課題(英記	(5		
		rceptions of Natural Disa East Asian communities	asters- and Enviro	nmental Deterioration-Induce	d Risks and th	eir Social and
			1.研究成果実績の	の概要		
区知れ近用変測たの中門検よっている。障がしている。障がしたいのでのなり、そのには、このでのないのでの住合かすで、このでのためでの住合のでのでのでので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので		注民を30家族、地域の医 の枯葉剤散布による環境 通りである。1)子供の障抗 通りである。1)子供の障抗 になった。1)など自らではい なった。1)専門家のリスタ と同じように自分自身の なった。1)専門家のリスタ 生する可能性・しない可能 すると、リスクを軽く受け止 自制する一因となっている	療関係者、障がいり 療関係者、障がいり 5染は多数の死に3 がいの原因を枯葉 がいの原因を枯葉 かう応できない力のぞ 20「そのは地区であ 20「そのは対一般住しきれ ク評価が共存している かようとする努力ー 5、日常的ナラティヴ なり、インドネシアで	ダイオキシンに汚染されたべ その週末学級関係者など20名 とる疾患とか障がい者を生み しによる環境の汚染に求め、そ 存在に原因を求める傾向が強 る。火山活動が予測される富 どは行われるが、地震、火山 がない」という発言に代表され、 ないという姿勢である。 のリスク対応を生み出さないと らの持つあいまいさである。2 ・独自の表現(ナラティヴ)で言 のこの特性は注目に値するた の調査は断念し、助成金の一	Aの聞き取り調査 出している。調査 い。3)一つの住よう たい。3)一つの住よう に、小 御門で家に火山 いうことである。 かうことである。 かうことである。 かうことである。 かったしてい いうこれまでの類	を行った。よく の結果観無果観 ははて、 気に と日常 動が のの の か の の の た して 生 し て 生 と 日 常 志 見 に て 、 告 に て 、 に て 、 に て 、 に て 、 に て 、 に て 、 に て 、 に て 、 に て 、 に て 、 に て 、 の に て 、 に て 、 で 、 に て 、 で 、 に て 、 で 、 の に て 、 の に て 、 の に て 、 の に て 、 の に て 、 の に の に の に の に の に の に の に の に の に の
山に丹記り07.			,,。。 研究成果実績の概	要(英訳)		
by the dioxin- disabled child weekend. Amor for a large num develop the for misfortune to b to blame the m views toward t The purpose is activities has in exercises are in their control in From the obse citizens to take danger to the l live their life w problematic jus	yielding herbic and 20 others ng the medical ber of fatal all blowing observ- be attributable hisfortune to " he use of all so to see any sig ntensified. I hav nstalled; 2) "Ca a manner simi rvations above e appropriate a latter. 50% cha ith blissful ignost so they can	ides (known as Agent Or like local clinic staffs ar and environmental specia ments and the birth defec vations:1) Very few, if a to the contaminated livin fate" and other forces or orts of agrochemicals. The gn(s) of significant change ve observed the following: an' t help it if Mt. Fuji erup lar to the Vietnamese abo e, two points stand out: 1 action, due to the innate nces of a major disaster orance, however. They do sustain their everyday li eeds to be developed and	range.) I have interned primary school alists, the living environment; and yer which they have e second of the rese in the residents' 1) No significant clots" represents ve. ) The specialists' ambiguity in the laction can easily be interned develop the kind of fe. Attention to thi which has rarely can	Vietnam, known to have its liv viewed the members of the teachers where some of the ironment contaminated by th var Vietnamese generations. T he disabled children are for 2) the families of the unfortu- e no control. Inevitably, they search targets is Suyama con- everyday life as the warning of hange in their everyday life ev- the residents' basic policy of warnings of various risks are nguage that the former try to preted as 50 % no disasters; 2 f narrative which makes living is particular function of the d aught the attention of risk beh	30 families with disabled childre e Agent Orange he intensive into theoming in arg unate children a have very little munity at the fo of possibility of I en with the regu- giving in to the unable to induc o communicate 2) the ordinary of with the impedi- aily narratives of	n at least one en spend their is responsible erviews helped guing for their re more willing or no guarded bot of Mt. Fuji. Fuji's volcanic lar evacuation forces beyond e the ordinary the impending sitizens do not ng danger less
			本研究課題に関			
発表者 (著者・	皆氏名 講演者)	発表課題名 (著書名・演題	<b>(</b> )	発表学術誌名 著書発行所・講演学会)	学術誌 (著書発行年)	経行年月 引・講演年月)
Vu Le Thao Ch	ii	Everyday Life and Risk	Journa Studie	ıl of Human Security s, Special Issue 2018-1	November 2018	3
Vu Le Thao Ch	ii	Surviving over Liv Generations' Postwar Na		ese Association of Human ty Studies, Annual	December 8- 9	, 2018